



今年度から新たに創設された、「探究努力賞」に、6名が選出されました。

探究努力賞 決定

授業や授業の延長で作成した論文やレポート等で、「自ら学ぶ」にふさわしい優れた内容に仕上がった作品を讃えるために設けられた賞です。まだまだ選定の基準や対象など手探りの状態ですが、これを機に、「自ら学ぶ」さんが増えることを期待しています。

氏 名	内 容
照井 想乃 (1年)	●「人類がたどった進化」〈社会〉 「探究努力賞」を創設しようと考えたきっかけの作品。授業だけでは足りない部分を家でも丁寧に仕上げてきた。とてもわかりやすい。
工藤 龍樹 (1年)	●「Minecraft 回路操作」〈情報〉 4つのスイッチを使い、電光掲示板に数字を点滅させる回路プログラムをゲーム(Minecraft)のツールを使って作り、視覚化した。
高橋 愛結 (2年)	●「風景画」〈美術〉 深い観察と絵の具の使い方を工夫。ガラス越しの情景を遠近感を出して表現。線遠近法だけでなく空気遠近法も使い、絵の具の濃淡で遠い近いを表現した。
須藤 真央 (2年)	●「ランプシェード」〈美術〉 自分のイメージを大事にし、途中で妥協せず、安定して自立するために積極的に質問し、サポートを受けながら時間外までがんばった。作品としてもダイナミック。
野木 櫻香 (2年)	●「植物観察」〈理科〉 授業で習った内容に興味を持ち、自分で調べて深く追求している。
佐藤 凜 (3年)	●「自画像」〈美術〉 一度、7割方描いたが、構図や色がイメージと異なり描きなおした。顔の明暗の付け方、唇の表現、背景の処理、花の描写など、自分のイメージと実際の作品を比べアドバイスを求め、持ち帰ってギリギリまで粘って完成させた。

ありがとうございました

今年も1年間、「カラット」をご愛読いただき、ありがとうございました。

今年度のスタートは、今まであって当たり前だったものがどんどんなくなってしまいました。衝撃的な1学期でした。何もできなかった1年だったなあと、今年1年の「カラット」を1枚1枚見ていきました。すると、意外にもいろいろなことがあって、実は充実した1年だったのではないかなと思うようになりました。当たり前にあることが、いかに素晴らしいことかを感じることもできました。生徒会でも、神町中学校の伝統がきちんと受け継がれ、そこに新たな伝統が積み重なりました。神町中学校でつくった、全校制作の絵のような1年間だったと思います。“Carat(カラット)”は、宝石の質量や金の純度を表す単位で、夢色通信社では「神中生1人1人が輝くように」という意味を込めて名付けました。“夢の華”には、1人1人が夢と希望を持ち、きれいな華になってもらいたいという意味があります。来年度、新たな学年で、皆さんが輝くことを期待して、今年度最終号とさせていただきます。

来年度も、笑顔とチャレンジでがんばりましょう！

